



「骨寺通信」 第103号

発行:本寺地区地域づくり推進協議会

岩手県一関市巖美町若神子241-2 骨寺村荘園交流館内

第16回 骨寺村荘園 稲刈り会



今回で16回目となる「稲刈り会」が、9月27日(日)開催されました。春の田植に続き、コロナ禍の影響で、今回も地元住民・関係機関の皆さんに、岩手大学からの有志8名を加えた、総勢約百名での縮小開催となりました。

一関市からは勝部市長にもご参加いただき、開会式の挨拶では、世界遺産への追加登録に向けた取組みの継続をお話いただきました。遠西・不動窟の二カ所の小区画水田で、金色の風を含む、新米の稲を手刈りし、ほんによに掛ける作業を行い、ぬかるむ足元に苦戦しながらも、収穫の喜びを体験して頂きました。

今回は、午前中のみ開催となりましたため、昼食に「もち弁当」を渡して解散となりましたが、来年度からは例年のように盛大な「交流会」として開催できるよう、光中住職の御祈祷とともに疫病退散を切に願います。

秋季 土水路整備作業

春と秋に二回行っている土水路整備作業を、11月21日(土)に実施いたしました。

今年の春は、コロナ禍の影響で地元住民と関係機関の皆さんのみで行いましたが、今回は、例年通り岩手県建設業協会一関支部、一関市水道工事業協同組合、関係機関の方々にもご参加いただき、約170人体制での作業となりました。

開会のセシモニーは行わず、また冷たい時雨が降る中での厳しい作業でしたが、午前の二時間余りで、総延長約23キロに及び荘園内水路の泥上げ、草刈を完了しました。作業に従事して頂いたみなさん、大変お疲れ様でした。

第10回 骨寺村荘園 収穫祭

今回で10回目となる「骨寺村荘園 収穫祭」が、晴天の11月8日(日)交流館を会場に開催されました。

産直野菜などの百円均一市や、もち・芋の子汁の無料振舞、新米(ひとめぼれ・こがねもち)・南部一郎かぼちゃの直売、特産品が当たる抽選会など、一日を通し、秋の収穫の恵みを楽しみに、多くの来場者で賑わいました。

市内でも感染者が出たことで、残念ながら巖美中学校のふるさと隊の皆さんは参加できませんでしたが、コロナ対策として、来場者にマスクの着用や、対人距離の確保など呼びかけ、安全面にも配慮しての開催となりました。



秋フェスタ開催

11月15日(日)若神子亭と古曲田家を会場に、「秋フェスタ」が開催されました。

古曲田家では、雑貨屋KOMASAを中心にマルシエが、若神子亭ではライブイベントが行われ、多くの来場者で大変盛り上がりしました。

第14回 中尊寺米納め

令和2年12月13日(日)
骨寺村で穫れた新米を貢納する
年末恒例の行事
問合せは「若神子亭」まで

真湯ゲート 冬季通行止め

11月5日～
4月下旬まで

